

令和7年度 第12回（3月）教育委員会定例会 会議録

日 時：令和8年3月26日（月） 15時30分～17時10分

場 所：村民センター 小会議室

出席者：教育長 尾形 浩 教育長職務代理者 田中 博美

委 員 千 菊夫・増澤 智代・平野真也

事務局：教育次長 藤澤 勇 学校教育係長 征矢 久仁子

以上7名 傍聴人：なし

I 開 会

II 教育長あいさつ

【南箕輪の風にて】

〈事前配付会議資料1〉

1 教育情報 ～共に学び合う～

○ 来る者拒まず 去る者追わず

2 主幹指導主事から

3 南箕輪村教育大綱について 【完成版です】

4 令和8年度 南箕輪村の教育 （全4ページ構成のリーフレット）

・・・全教職員、各議員ほか関係者に配布予定

P1 教育大綱の抜粋から P2 学校教育の重点 P3 社会教育の重点

P4 各系の年間関係事業一覧表、学校教育を支えている教職員の方々

5 学校教育係関係

(1) 南箕輪中学校 卒業生の進路状況について

(2) 文科省「学校の教職員の働き方改革推進事業

2/12 木 南中の業務改善の研修から

2/20 金 南小の授業改善の研修から

3/26 木 南中の授業改善の研修から

(3) 南信教育事務所だより

2/26 教科等における「探究の学び」の充実 : 南箕輪中の取組

(4) 学校自己評価の結果に関する保護者向け文書

6 社会教育係関係

(1) 文化講演会の様子か (2/15)

(2) 講演会 絵本作家 長谷川 義史氏 のお話から (2/20)

(3) 来年度以降の20歳のつどいの実行委員会形式へのアプローチ

(4) 人材育成推進委員会から(2/27) 文化講演会講師R8 やく みつる氏

(5) 令和8年度の人権教育推進事業(予定) (2/18)

(6) 公民館運営協議会から (3/19)

(7) 村連合PTAと教育長との懇談から (3/24)

(8) 第3回図書館協議会から (3/24)

7 その他

(1) 教育委員会だより 「ああ 遠くの空は 晴れている」 NO9~12

(2) 教育委員会だより R8年度 編集計画案

(3) R8 ヒロシマ平和学習実施計画(案)

Ⅲ 付議案件

(1) 公民館長の任命について

(2) 社会教育指導員の任命について

(3) 指導種主事の任命について

Ⅳ 協議事項

1 令和8年度南箕輪村の教育について

教育委員

○ p2 2(2) ① こども館(土)の次に・入れる。

- p3 こども未来塾 7月なのか8月なのか・・・7月31日～8月1日です。
- p4 各系の年間関係事業一覧表等・・・3月末の時点で正確なものを入れる
- p3 公民館活動の講座等も令和8年度版に修正する。

教育長

この1枚のリーフレットで、本村の教育委員会の大まかな情報を把握いただければと願っている。

V 報告・確認事項

1 3月議会答弁内容について 〈会議資料1〉

※会議資料にて報告

2 村職員人事異動について 〈会議資料2〉

※会議資料にて報告

3 高校入試結果について 〈会議資料3〉

※会議資料にて報告

4 児童・生徒数について 〈会議資料4〉

※会議資料にて報告

5 事故報告 〈会議資料5〉

※会議資料について説明

6 各委員から口頭で

○伊那養護学校 中の原分教室の卒業式、感動的だった。生徒と教職員の強い絆を感じた。

○先日、森の学びやの講演に参加した。日本人は遺伝的に不安を感じやすい。結果的に、日本人は自己肯定感を得にくい傾向が強いとのこと。日本人が不安を感じやすい理由として、遺伝的な特性によりセロトニン（安心やリラックスに関わる脳内物質）の受容体や、セロトニンを再取り込みする輸送体（トランスポーター）の機能

に特異性があることが研究で指摘されている。日本人の多くは、セロトニントランスポーター遺伝子が弱い「SS型（不安遺伝子を2つ持つ）」が多く、全人口の7割以上がこのタイプに該当するとのこと。

この話を聞いて思ったことは、スマホやゲームばかりしては心配。やはり、人との関わり方が大切である。人と関わることを通して、自己肯定感を高めていきたい。

ただし、遺伝子的に不安を感じやすい特性は、必ずしも悪いことではなく、周囲の危険をいち早く察知する「リスク管理能力」や「繊細さ」というポジティブな側面も持ち合わせているとのこと。

○NHKの番組で、タモリと山中伸弥さんの番組で、日本人の性質について扱っていて、日本は地震や火山噴火があるので、その影響で遺伝子的に準備する力や恐れる力はあると言っていたのを思い出した。

○文化講演会の堤先生の話と長谷川先生の絵本ライブ、両方とも楽しんで聞いて内容もよかった。長谷川先生は、最後に平和のことに触れていた。おじいちゃんのおじいちゃん、そのまたおじいちゃん・・・と遡っていくと、最後はお猿さんに似た顔になっていた。堤先生の話も、人類のスタートは1つ、太陽光の当たり具合で肌の色が違い、分化していったが、元々人類は1つ、争う必要はないとのこと、どちらの講演も、最終的には人類は1つである、争うことは必要ないという主張に同感。（今起きている戦争が心配）

講演会のあと、伊那市創造館で黒曜石の展示を見た際に、戦争に巻き込まれた一家の経緯を扱ったテーマ展「ある一家の十五年戦争」を見てきた。展示の最終コーナーに、遺族名簿があり、亡くなられた方の氏名、年齢、場所が記されていた。この近くの方でも、満州で、1歳でという記述があり、戦争の怖さを身近に感じた。今、世界で戦争が起きているが、過去の歴史を大事に考えてほしい。

○ 中学校の学校自己評価の中で、「読書に親しむ」の評価が、生徒・保護者・教職員ともに、A：そう思う B：どちらかと言えばそう思うの合計割合が50数パーセ

ントであった。今の世の中かなと思ったが、だからこそ、読書を大事にしてほしい。

○ 教育大綱、デザインを工夫して見やすくなった。

キャリア教育、小学校でピアノの構造等について授業をさせてもらった。気になった点は、2つの学級とも、開始時刻に遅れてやってきた。卒業目前で、いろいろと忙しいとは思いますが、開始時刻を大事に考えてほしい。

教育長

授業の開始時刻に、外部指導者の授業に遅れるということは、他からも指摘されている。4月の三校校長会で扱いたい。開始時刻を守ること、担任が必ず同席すること。大事な点をしてきていただきありがたい。

自己肯定感をどう育てるか、遊びやお手伝いを増やす、「好き」や「得意」を応援する、協働学習や体験活動の重視、自分で選択・決定する機会の推奨、プロセスをほめる、感情を言語化する、家族での会話・対話を増やす、失敗やうまくいかなかったことを振り返る、小さな役割を任せる、許す・折り合いをつける経験を積む等の中で、自己肯定感を含めた非認知能力を育てていきたい。

南中の読書に関する自己評価の点、大事に受け止めたい。清掃を朝にもってきて朝清掃を週3日、それまで朝読書の時間だったところに充てたので、朝読書する機会が減ったのは事実。その分、今図書館司書が、職員室や保健室の前にブックコーナーを設けて、本の紹介をするなど、工夫した展開を実施している、村民センターのプログレス・ルームの廊下の掲示コーナーも、これまで司馬遼太郎氏の本の紹介だったのを、先日から「心の温まる本」の紹介を行っている。読書は様々な効用がある。精神の背骨を創っていくのはやはり、読書。大事に考えたい。

6 4月、5月の教育委員会定例会日程

4/22(水) 15:00~17:00 村民センター小会議室

5/25(月) 15:00~17:00 村民センター小会議室

VI 閉 会

教育長

教育委員会だより「ああ 遠くの空は晴れている」（毎週火曜日 すぐーるで保育園～小中学校の保護者・教職員対象に配信）は、計画通りに配信されている。

4月14日の藤本三郎氏の「基礎学力」について、と4月21日の岩崎 宏章氏の「1つのグループで行こうよ」は、授業づくりと学級づくりの本質について書かれた珠玉の文章である。南箕輪村に勤務する先生方、保護者の皆さんにぜひ読んでもらいたいと思い、紹介する予定である。

また、毎月23日は共育の日で、アウトメディアデーであるので、直近の火曜日の「ああ 遠くの空は晴れている」にチラシを添付していく。教育委員会だよりは、いろいろな方に執筆いただいているので、その方向を大事にしていきたい。

本日は、本年度最後の定例教育委員会、ありがとうございました。

会議録署名欄

教 育 長	
職務代理者	
委 員	
委 員	
委 員	

教育次長